



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 G-FACTORY株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3474 URL https://g-fac.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 片平 雅之
 問合せ先責任者（役職名） 専務取締役管理本部長（氏名） 田口 由香子（TEL）03-5325-6868
 半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	3,214	1.3	△56	—	△118	—	△160	—
2024年12月期中間期	3,172	17.1	48	—	93	—	94	—

（注）包括利益 2025年12月期中間期 △142百万円（—%） 2024年12月期中間期 128百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	△24.69	—
2024年12月期中間期	14.58	14.53

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、2025年12月期中間期は、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	4,155	1,343	29.8
2024年12月期	4,365	1,463	31.5

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 1,237百万円 2024年12月期 1,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00			
2025年12月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,560	3.3	34	—	32	86.2	△58	—	△9.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期中間期	6,831,500株	2024年12月期	6,816,500株
2025年12月期中間期	300,000株	2024年12月期	300,000株
2025年12月期中間期	6,517,162株	2024年12月期中間期	6,491,258株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、人手不足や物価高を背景に雇用・所得環境が緩やかに改善しました。インバウンド需要の回復も追い風となり、全体として持ち直しの動きがみられました。一方で、世界的な金融引き締めや円安、原材料高の影響から、企業・家計ともに負担が増し、先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループの主力取引先である飲食業界におきましては、需要回復の動きがみられる一方で、物価上昇に伴う節約志向が根強く、業態ごとの集客力や価格戦略が業績に大きく影響を及ぼす状況が続いております。加えて、原材料価格の変動に加え、人手不足による人件費の上昇も経営負担となっており、依然として厳しい事業環境が続いております。

そのような状況下、当社グループは、国内の飲食店をはじめとするサービス業の成長をサポートすることを第一に、「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンを掲げ、日本国内の和食文化を世界の様々な地域へ輸出する架け橋となれるよう努めてまいりました。また、経営サポート事業と飲食事業の連動によって、当社独自の「プラットフォーム」を形成し、両事業を併せ持つことによるシナジー効果で収益を創出するビジネスモデルを確立し、各事業で収益が発生する「名代 宇奈とと」のライセンス展開や、飲食事業で培ったノウハウや課題解決力を活かし、時代と共に変化する飲食店経営のニーズに対応した新サービスの提供を推進してまいりました。さらに、中期展望の実現に向けて、国内及び海外の管理体制強化に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は3,214,204千円（前中間連結会計期間比1.3%増）、営業損失は56,445千円（前中間連結会計期間は営業利益48,924千円）、経常損失は118,421千円（前中間連結会計期間は経常利益93,083千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は160,911千円（前中間連結会計期間は親会社株主に帰属する中間純利益94,649千円）となりました。

なお、為替相場の変動による為替差損63,963千円を営業外費用に計上しております。これは主に、当社から当社連結子会社であるGF CAPITAL PTE. LTD. への貸付金の為替換算レートによる評価替えにより生じたものであります。

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

① 経営サポート事業

当中間連結会計期間においては、出退店サポートにおける新規案件の獲得が継続しており、取扱物件数の増加によりストック型の収益が増加しております。また、国策である特定技能制度を追い風に、外国人材紹介サービスが継続的に拡大し、フロー型の収益も増加傾向にあります。

外国人材紹介サービスについては、対象となる外国人材、特定技能分野、支援対象国の拡大に取り組んでおり、当社にとって新たな成長領域として積極的な投資を行っております。これに伴い、体制整備に伴う人件費や地代家賃等が増加しております。

その結果、当セグメントの売上高は1,492,318千円（前中間連結会計期間比0.4%増）、営業利益は215,397千円（同19.8%減）となりました。

② 飲食事業

当中間連結会計期間において、当社グループが展開する「名代 宇奈とと」の国内店舗では、コメ等の原材料価格の高騰によるライセンス店支援措置として、ロイヤリティの減額を行っていますが、継続するインバウンド需要の獲得や新規出店、原材料価格の高騰に対応した販売価格の改定により、全体として売上高が増加しております。また、海外店舗においても、客数増加を目的とした各種施策が奏功し、既存店で増収しております。一方で、国内海外の新店開発により、開発費用のほか人件費や減価償却費等が増加しております。

レストラン業態においては、不採算店舗の休業措置を講じたことにより売上高は減少したものの、コスト削減効果により収益性は改善いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は、1,721,885千円（前中間連結会計期間比2.1%増）、営業利益は43,431千円（前中間連結会計期間比11.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当中間連結会計期間の資産は前連結会計年度末より209,646千円減少して4,155,692千円となりました。これは主に、有形固定資産その他が42,071千円、差入保証金が32,459千円増加した一方で、現金及び預金が192,962千円、売掛金が25,168千円、建物及び構築物が47,190千円減少したことによるものであります。

② 負債の部

当中間連結会計期間の負債は前連結会計年度末より89,139千円減少して2,812,421千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が31,014千円、長期預り保証金が44,772千円増加した一方で、買掛金が36,444千円、未払法人税等が20,202千円、長期借入金が107,915千円減少したことによるものであります。

③ 純資産の部

当中間連結会計期間の純資産は前連結会計年度末より120,506千円減少して1,343,271千円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が19,672千円、新株予約権が17,845千円増加した一方で、利益剰余金が160,911千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年2月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,454,488	1,261,526
売掛金	206,562	181,393
リース投資資産	39,836	24,951
商品	73,059	59,663
その他	308,089	329,355
貸倒引当金	△115	—
流動資産合計	2,081,921	1,856,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	660,817	613,627
その他(純額)	48,857	90,928
有形固定資産合計	709,675	704,555
無形固定資産		
その他	18,940	19,000
無形固定資産合計	18,940	19,000
投資その他の資産		
差入保証金	1,219,217	1,251,676
その他	337,552	328,093
貸倒引当金	△1,967	△4,523
投資その他の資産合計	1,554,802	1,575,245
固定資産合計	2,283,417	2,298,802
資産合計	4,365,339	4,155,692

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	168,055	131,611
1年内返済予定の長期借入金	156,972	187,986
未払法人税等	22,664	2,462
その他	760,054	767,103
流動負債合計	1,107,745	1,089,163
固定負債		
長期借入金	780,741	672,826
長期預り保証金	904,961	949,733
その他	108,113	100,698
固定負債合計	1,793,815	1,723,257
負債合計	2,901,560	2,812,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,460	55,305
資本剰余金	633,283	635,128
利益剰余金	772,206	611,295
自己株式	△243,933	△243,933
株主資本合計	1,215,016	1,057,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	629	1,098
為替換算調整勘定	159,304	178,976
その他の包括利益累計額合計	159,934	180,075
新株予約権	71,557	89,403
非支配株主持分	17,269	15,998
純資産合計	1,463,778	1,343,271
負債純資産合計	4,365,339	4,155,692

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,172,516	3,214,204
売上原価	1,626,788	1,675,202
売上総利益	1,545,727	1,539,001
販売費及び一般管理費	1,496,803	1,595,446
営業利益又は営業損失(△)	48,924	△56,445
営業外収益		
受取利息	152	1,000
為替差益	44,350	—
助成金収入	674	1,359
その他	2,955	2,838
営業外収益合計	48,132	5,198
営業外費用		
支払利息	3,679	3,204
為替差損	—	63,963
その他	293	6
営業外費用合計	3,973	67,174
経常利益又は経常損失(△)	93,083	△118,421
特別利益		
固定資産売却益	399	6,747
違約金収入	1,052	4,625
受取和解金	2,356	37,305
特別利益合計	3,808	48,678
特別損失		
固定資産除売却損	1,172	5,843
和解金	6,531	33,496
店舗閉鎖損失	—	19,761
訴訟関連損失	—	13,856
特別損失合計	7,704	72,958
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	89,187	△142,702
法人税、住民税及び事業税	24,291	4,432
法人税等調整額	△30,169	14,422
法人税等合計	△5,877	18,855
中間純利益又は中間純損失(△)	95,065	△161,557
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失(△)	415	△645
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	94,649	△160,911

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	95,065	△161,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	546	468
為替換算調整勘定	32,647	19,047
その他の包括利益合計	33,193	19,515
中間包括利益	128,258	△142,041
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	127,099	△140,770
非支配株主に係る中間包括利益	1,159	△1,271

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	89,187	△142,702
減価償却費	101,757	79,759
のれん償却額	13,520	—
長期前払費用償却額	16,563	14,576
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△42	2,440
受取利息及び受取配当金	△152	△1,000
支払利息	3,679	3,204
為替差損益(△は益)	△66,216	63,692
固定資産売却損益(△は益)	△399	△6,747
固定資産除却損	1,172	5,843
売上債権の増減額(△は増加)	△5,321	16,634
棚卸資産の増減額(△は増加)	6,316	12,922
リース投資資産の増減額(△は増加)	14,386	14,885
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△17,243	△25,702
長期前払費用の増減額(△は増加)	△5,442	△8,681
仕入債務の増減額(△は減少)	4,133	△32,812
未払金の増減額(△は減少)	19,611	28,257
その他の流動負債の増減額(△は減少)	50,772	14,011
長期預り保証金の増減額(△は減少)	△1,126	△26,573
長期前受収益の増減額(△は減少)	△35,674	△33,521
その他	17,986	19,761
小計	207,470	△1,750
利息及び配当金の受取額	150	981
利息の支払額	△3,588	△3,450
法人税等の支払額	△3,840	△24,997
法人税等の還付額	7,896	362
営業活動によるキャッシュ・フロー	208,088	△28,854
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,606	—
有形固定資産の取得による支出	△125,535	△97,408
有形固定資産の売却による収入	399	10,425
投資有価証券の取得による支出	△597	△598
無形固定資産の取得による支出	△9,677	△1,859
差入保証金の回収による収入	26,903	10,393
差入保証金の差入による支出	△80,175	△64,334
長期預り保証金の受入による収入	108,435	101,385
長期預り保証金の返還による支出	△32,506	△22,369
その他	8,287	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,859	△64,377
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△118,981	△76,901
ストックオプションの行使による収入	1,900	3,690
配当金の支払額	△3	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,084	△73,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	66,965	△26,498
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	55,110	△192,947
現金及び現金同等物の期首残高	1,502,094	1,453,155
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,557,204	1,260,207

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	経営サポート 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,486,040	1,686,476	3,172,516	—	3,172,516
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,486,040	1,686,476	3,172,516	—	3,172,516
セグメント利益	268,479	48,838	317,318	△268,394	48,924

(注) 1. セグメント利益の調整額△268,394千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	経営サポート 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,492,318	1,721,885	3,214,204	—	3,214,204
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,492,318	1,721,885	3,214,204	—	3,214,204
セグメント利益又は損失	215,397	43,431	258,828	△315,274	△56,445

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△315,710千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。